

✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2021年6月9日 KGUN-TV

■ 砂嵐の検知技術でモンスーンによる人身事故を防ぐ

Dust Storm technology to help save lives during the monsoon

「これは、砂塵で視界が低下し始めたことを検出できる自動システムです」とアリゾナ州交通局のグロフ氏は語る。同システムの特長は、13個の可視性検出器を備えていることだという。

「この機器は空気中の砂の粒子を光線で検出します。砂嵐が起こると自動的に可変速度制限標識を作動させ、通常の制限速度である時速75マイルから時速35マイルまで引き下げます」

イタリア 2021年6月10日 イタリア・アウトストラデー社

■ イタリア・アウトストラデー社が、トリノ工科大学、ミラノ工科大学、ミラノ工科大学経営大学院と共同で組織した修士課程で、20名の新卒者採用を開始

AUTOSTRADe PER L'ITALIA, AL VIA LE ASSUNZIONI DI 20 NEOLAUREATI GRAZIE AL MASTER ORGANIZZATO INSIEME AI POLITECNICI DI TORINO E MILANO E AL MIP, LA GRADUATE SCHOOL OF BUSINESS DELL'ATENEO MILANESE

当社が推進するこの取り組みは、2024年までに2,900人の新入社員を雇用することと技能向上に焦点を当てた経営計画の一部であり、トリノ工科大学、ミラノ工科大学、ミラノ工科大学経営大学院の修士課程および生涯学習の連携の結果です。目標は、高速道路網の管理と監視における革新的な手法の研究と、実務において際立った知識を持つ新入社員を迎えることです。

イタリア 2021年6月13日 Repubblica オンライン版

■ イタリア・アウトストラデー社がベネトンを離れてCDPのコンソーシアムの手に移る

Autostrade passa al consorzio Cdp | Benetton escono

民営化から20年以上、そして11カ月にわたる財政上の戦いの後、ベネトン家のイタリア・アウトストラデー社(ASPI)からの苦難に満ちた撤退は、経営支配権が国の手に戻ることで終わる。財務省が管理する『CDP エクイティ』が主導するコンソーシアムは、昨日、アトランティアが保有するASPIの株式の88.06%を取得することでアトランティアと合意した。買収は、CDP(51%)、ブラックストーン・インフラストラクチャ・パートナーズ(24.5%)、マッコリー・アセットマネジメント管理下のファンド(24.5%)で構成されたNewCoである『ホールディング・レーティ・アウトストラダグーリ(Hra)』を通じて行われる。

イギリス(ノルウェー) 2021年6月14日 World Highways

■ ノルウェー、新たに橋とトンネルを接続する道路を建設

Norwegians would build new bridge and tunnel links

ノルウェーは、EVの利用拡大に向けて道路交通網の整備を進めている。他方、従来のフェリーによるルートが段階的に廃止するなど、変化しつつある。

このプロジェクトの目的は、現在島々を航行しているフェリーをトンネルと橋に置き換えることである。島に住む約3,000人はフェリーに頼ることなく本土に移動することが可能になる。なお、工事費用は4億9230万ユーロと見積もられている。

スペイン (イタリア) 2021年6月14日 Sacyr

■ サシル, イタリアで 320 km の高速道路のコンセッションを落札, 収益は 37 億ユーロ

Sacyr se adjudica la concesión de 320 kilómetros de autopistas en Italia con unos ingresos de 3.700 millones

Fininc とサシルが構成する SIS コンソーシアムは、トリノ近郊の 5 区間のコンセッションを落札した。この区間は供用済みであり、修繕等のため 8 億ユーロの投資が必要な一方で、12 年間のコンセッションを通じて 29 億ユーロの収入を生み出す予定で、総事業費は 37 億ユーロとなる。

アメリカ 2021年6月14日 WTOP-FM

■ メリーランド州で I270 号線の新たな交通管制システム (ランプメータリング) を実験

A first for Maryland: State to test new system for I-270 traffic management

来週、メリーランド州交通局は、州で最も混雑する道路の 1 つである州間道路 270 号線で、渋滞緩和と合流の平易化を目的として、ランプメータリングの実証実験を行う。

自動センサーが 270 号線の渋滞を検出するとビーコンが点滅し、ドライバーはランプの終端前で停止し、青信号を待ってから、各車線から 1 台ずつ本線に合流する。

アメリカ 2021年6月14日 Star Tribune

■ MnDOT がデジタル形式の工事計画を受け入れ

In a first, MnDOT accepts construction plans in digital format

ミネソタ州交通省 (MnDOT) は、エルクリバーを通るハイウェイ 169 号線の大規模改築計画の最終決定に際して、3次元デジタル設計図 (BIM) に大きく依存している。これは同省では初めてのことだ。

この動きに伴い MnDOT は、コンピューターを使った標準的な 2次元設計に代わって、BIM を徐々に採用しているアイオワ、ユタ、ニューヨークなど他州の交通省の後に続くことになった。

アメリカ 2021年6月14日 Government Technology

■ Waycare, ラスベガス公道の実験で事故が 18%減少と報告

Waycare Reports 18% Drop in Crashes in Las Vegas Road Test

地域の行政機関 (州交通省, 道路パトロール, 地域交通局) は Waycare と提携し、事故リスクが高い道路区間を特定した。次に、これらの区域で特に危険な時間帯に警察車両を配置し、速度監視していることをドライバーに知らせるデジタル標識を設置した。ドライバーは時速 62 マイルから時速 60 マイルに平均 2 マイル減速し、事故件数は約 18%減少した。

ドイツ 2021年6月15日 Zeit オンライン版

■ 電動キックボードは危険で持続不可能?

E-Scooter: Gefährlich und nicht nachhaltig?

ドイツでは 2 年前の 2019 年 6 月 15 日から電動キックボードでの走行が許可されているが、それ以前から激しい議論が生じていた。電動キックボードは、ショイアー連邦交通大臣が「自動車の真の代替品がまた新たに登場した」と賞賛する一方、自転車利用促進の活動家は、将来的に自転車専用道路がさらに狭くなると批判した。また事故研究者はキックボードが引き起こす危険を警告した。

調査対象者の 1/4 は、キックボードでの歩道の走行が禁止されていることを知らなかった。

連邦統計局によれば、キックボードが関係する人身事故は 2,155 件発生している。警察によると約 3/4 のケー

スで電動キックボードの運転手に主要な責任があった。

アメリカ (イギリス) 2021年6月19日 Traffic Technology Today

■ ハイウェイ・イングランドが2台目となるコーン自動敷設車両を発表

VIDEO : Highways England unveils second automated cone layer

2台目の車両はキング・ハイウェイ・プロダクツ社が開発したもので、ケントのマンストン空港で大規模な実験（一般道路外）を行う際に発表された。キング社はコーンを出し入れする巨大な回転ドラムを備えた「リボルバー」スタイルの展開を選択したためこの車両は1台目と全く異なる。

アメリカ 2021年6月19日 NBC News

■ 数百万台規模で電気自動車を普及させたい大統領の考えに電力網は対応できるか？

Biden wants millions of electric vehicles on the roads. Can the power grid handle it?

高コスト、全国的な充電設備の不足、電力網への懸念の高まりを理由に、消費者が依然として電気自動車の購入に消極的であることが、複数の調査から判る。

バイデン大統領は、インフラ法案を通じて、特にバッテリー式電気自動車への移行を直接支援する費用として1,700億ドルを確保することで、これらの問題全てに対処しようと考えている。

フランス 2021年6月20日 APRR

■ 逆走車の情報提供装置を A42 高速道路上でテスト

Un dispositif d'information en cas de contresens testé sur l'A42

当社は先日、逆走車の通報があった際に高速道路利用者を誘導するための情報提供装置の試験を行いました。逆走車両の報告があった際、即座に取ることができる対応が複数ある中で、逆走車の影響を受ける道路区域への交通の侵入を遮断します。他の高速道路利用者を料金所ゲートや入口ランプで足止めします。

ドイツ 2021年6月22日 Zeit オンライン版

■ 交通の転換：都心部から自動車をなくすべきか

Verkehrswende : Sollten Innenstädte autofrei werden?

ベルリンでは、国民投票のための署名が集められており、人口の過半数が同意した場合、車はSバーン環状線の内側で運転することを、ほとんどの場合許可されなくなる。ただし警察、タクシー、商業交通、および身体的な制限のために車に依存している人々は例外とされる。ハレでは、市議会で提議された市内中心部への自動車の乗り入れ規制案が、市民投票で否決されたばかりだ。ターゲットシュピーゲル紙の委託を受けて意見調査機関Civeyが全国アンケートを行ったところ、ドイツ国民の意見が分かれていることが判明した。

スペイン 2021年6月23日 Abertis

■ アベルティス財団、「私があなを連れていく」キャンペーンを開始、聖ヨハネの祝日での無謀運転行為を防ぐため

La Fundación Abertis lanza la campaña "Yo te llevo" para evitar imprudencias al volante por San Juan

アウトピスタス社の調査によると、車両の半数以上が高速道路の制限速度を超過し、3%は運転中に携帯電話を使っているという。聖ヨハネの祝日の間は、カタルーニャ地方の高速道路で30,000台以上の車で移動が予測され、自家用車の交通量の増加が見込まれる。そのためアベルティス財団は、ハンドルを握りながら携帯電話を

使ったり、法定速度を超えて走行したり、飲酒後に運転するといった交通ルール違反のリスクについて意識を高めることを目指している。この活動には、アベルティスのスペインの子会社であるアウトピスタス社や、グットマン研究所、赤十字、および交通総局が協力している。

アメリカ (ドイツ) 2021年6月24日 VentureBeat

■ 自動車運転中の人の動きを検知するレーダーセンサー

Infineon creates radar sensors to monitor people in self-driving cars

このレーダーは、保護者の不注意により置き去りにされた可能性のある子供や、心臓発作などの緊急事態に陥っているドライバー、眠ってしまった人など、車内にいる人のわずかな動きでも検知できる。このデータによってインテリジェントカーは、緊急警報の送信やシートベルト、およびエアバッグが正しい位置にあることの確認などが可能になる。

ドイツ 2021年6月25日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ ウィースバーデン近郊のザルツバッハタール橋が取り壊しへ

Salzbachtalbrücke bei Wiesbaden soll gesprengt werden

アウトバーン 66号線上、ウィースバーデン近郊にあるザルツバッハタール橋に損傷が生じて、通行が遮断されている。この橋梁は取り壊す必要があるという。取り壊し後は、予定されていた新たな橋梁の建設が秋には開始となる。従来の計画では工事に1年かかるとされる。

ザルツバッハタール橋は上部構造が30cm沈み、コンクリート片が落下していたことにより、通行が遮断されていた。橋梁の下を通る道路や線路も現在は通行止めとなっている。

アメリカ 2021年6月25日 The Associated Press

■ バイデン大統領、インフラ法案をめぐる超党派での協定を良いスタートと賞賛

Biden extols bipartisan infrastructure deal as a good start

この法案の予算は、5年間で9,730億ドル、8年間で1.2兆ドルと縮小されているが、バイデン大統領のより幅広い提案の重要な部分である。

交通関連予算3,120億ドルのうち、一般道と高速道路に1,900億ドル、電気自動車向けのインフラと交通システムに150億ドルが割り当てられている。

フランス 2021年6月27日 APRR

■ APRRの高速道路上で、未来の高速道路を具現化

Le futur de l'autoroute se dessine sur les autoroutes APRR

①アリエ地域のA71高速道路上では、タイヤ消耗スキャナーを試験中：ミシュランとAPRR、ADEMEが協力して試験を行っているこの装置は、最終的には通過車両のタイヤの消耗状態を判断し、ひどい場合には運転者に知らせるものである。さらに空気圧が不足しているタイヤを検知することもできるようになる見込みである。

②コネクテッドカーに向けた道路整備が完了：リヨンとグルノーブルをつなぐ高速道路A43およびA48号線には、28台の「路側機」が設置され、運転者のダッシュボード上に警告メッセージを表示させることができるようになりました。また高速道路パトロール車も同様に、5G Wi-Fiを使って自身の存在を接近車両に知らせるための装置を装備した。これは欧州のC-Roadsプロジェクトの一環で実施するものである。

③フリーフローシステムが完成間近：料金所レーン通過の際に減速する必要がなくなる「フリーフロー」の料

金所が、2022年にフランス（高速道路 A79 号線）に登場する予定である。

ドイツ 2021年6月28日 Zeit オンライン版

■ 連邦交通省、新たなトラック駐車場に9,000万ユーロを出資

BMVI : Bund investiert 90 Millionen Euro für neue Lkw-Parkplätze

目的は、工業地帯やトラック用休憩施設などに駐車スペースを作る企業の支援である。公表されたガイドラインによると、対象となる新設・増設費用の80%、改修費用の90%が補助される。2024年までに約9,000万ユーロの予算措置が行われるという。

2018年の時点で、23,000台分の駐車スペースが不足していたことから、連邦交通省は過去12年の間に約12億ユーロを出資し、2018～2020年に約2,300台分のトラック駐車スペースが作られた。しかし、それを上回る勢いで需要が増加している。

ドイツ 2021年6月28日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ 電化道路のパイロット実験がムルクタールで開始

Pilotstrecke für Oberleitungs-Lkw im Murgtal gestartet

『eWayBW』は、架線を介してハイブリッド貨物自動車に給電するパイロットプロジェクトである。ラシュタット近郊のムルクタールの連邦道路に作られた約18kmのパイロット区間では、そのうちの4kmが電化されており、専用のトラックに架線を介して走行に必要な電力を供給する。

同時にバッテリーの充電も行われ、架線の設置区間が終わってからも排出ゼロの走行を続けることが可能で、実験期間は2024年6月までとされる。

プロジェクトの費用は約2,800万ユーロで、その大部分は連邦環境省の支援プログラム『再生可能な交通』の一環として出資を受ける。バーデン＝ヴュルテンベルク州モビリティセンターが運営を担当し、フラウンホーファー・システム・イノベーション研究所が学術面を支える。

スペイン 2021年6月29日 Cinco Días オンライン版

■ ACS、複数の大手ファンドと交渉：高速道路対象の巨大投資子会社設立へ

ACS negocia con grandes fondos para crear su gigante de inversión en autopistas

ACSグループは、インフラのコンセッションを対象とした世界最大の投資会社を設立する計画を立てている。主に建設と有料高速道路の管理に焦点を当てており、1社または複数の専門ファンドと協力する予定だ。

情報筋によると、ACSは、大手インフラ投資機関のいくつかに接触を始めたとのことだ。この動きは、イタリア・アウストラデー社（ASPI）の買収に代わる計画を始動することを意味する。

イギリス（スウェーデン） 2021年7月2日 World Highways

■ ヨーテボリ市が道路状態のデータを収集

Gothenburg to collect road condition data

同市は、ViaPM、NIRA ダイナミクス、ルレオ工科大学と連携し、冬季の道路摩擦データを2年にわたり収集する。

NIRA ダイナミクスはGlobal Weather社と、数分または数時間以内に車両が遭遇する天候と舗装路面の状態を予測するRoadWXデータサービスの使用に関し契約した。道路へのRoadWX独自の気象技術は、道路の熱物理学をモデル化し、舗装表面の状態を予測する。